

# 令和7年度 墨田区立第四吾嬬小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

07 12 11修正 校長 清水 雅也

学校教育目標	◇健康で心豊かな子 ◇よく考え進んで実行する子 ◇力を合わせてつとめをやりとげる子 ◇礼儀正しい子
目指す学校像	◇学ぶ力が伸びる学校 ◇連携・発信する学校 ◇安全・安心な学校
目指す児童像	◇元気でいきいきと学び、運動する子供 ◇協力し合い、認め・高め合う、共生社会の担い手となる子供 ◇地域・社会に貢献する礼儀正しい子供
目指す教師像	◇自ら学び、自己研鑽する教師 ◇教育公務員としての自覚をもち、保護者・地域社会の期待にこたえる教師 ◇「褒める・認める・きちんと諭す」ことができる、あたたかく、厳しく、情熱的な教師

## ○令和7年度 学校経営計画における重点内容

### ①学ぶ力が伸びる学校

◇個に応じたきめ細やかな学習・生活指導の充実を図る。 ◇交流行事・授業を通して個の特性に応じた指導をすすめるとともに、障害に対する理解の深化を図る。

### ②連携・発信する学校

◇「区研究協力校」として、「地域で学ぶ・地域から学ぶ」を合い言葉に、**地域教材の開発と地域学習の单元化**を推進する。  
→大学連携、商店街に関する学習、防災に関する学習 など

### ③安全・安心な学校

◇職員全員の共通理解のもと、いじめ・不登校の未然防止と改善に努める。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標	成果指標	
				評価	評価
各教科指導等	(1)主体的対話的に学びなら、確かな学力を向上させるために、意図的計画的な取り組みを行う。 ①興味関心をもって取り組める地域教材の開発と单元化の推進。	◇地域で学ぶ・地域から学ぶを合った言葉に、町会・商店街・大学などの諸機関と連携した学習単元（キャリア教育を含む）を開発し、校内研究授業を年3回実施する。 ◇区研究協力校（一年次）として、取組の成果を区内全校に発信する（紙面発表）。	4 教・保・児ア「興味関心をもって取り組む学習」 80%以上	4 研究授業実施状況 事前研究会を含め年間3回実施 3 授業・協議会3回 2 授業のみ3回 1 授業3回未満	
			3 70%以上		
			2 60%以上		
			1 60%未満		
	②タブレット端末の効果的な使用の推進。	◇タブレット端末等のICT機器を活用したGIGA構想ステップ2の授業・学習を展開する。	4 教・児・保ア「タブレットを活用した学習推進」 80%以上 3 70%以上	4 ICT機器の活用状況 毎日活用（週5日） 3 週4日程度	

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		評価	成果指標		評価	
③学力向上を目指す各種取組の実施。	③学力向上を目指す各種取組の実施。 ④読書指導、調べ学習の充実。 ⑤教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組を行う。 ①校内OJTの推進と充実。 ②管理職による授業観察。 ③特別な支援を要する児童に対して、組織的な支援を行う。 ①連絡会議の定期開催と迅速な対応。 ②通常学級と特別支援学級、および医療的ケア児との交流によるインクルーシブ教育の充実。	◇チャレンジ教室（週2回）、放課後補習教室（週2回）を実施する。 ◇教育研究所提供の各種教材を活用した振り返り学習に取り組む。 ◇図書館司書（読み聞かせブックトーク）、地域図書館と連携（団体貸出、見学等）し、読書及び調べ学習の充実を図る。 ◇若手とベテランのペアによるOJT指導の実施。 ◇研修成果の共有化（研究授業・研修受講の成果報告の実施）。 ◇日常的な授業観察+定期的な授業観察の実施。 ◇要支援児の実態を把握する連絡会議を月1回実施し、適切な指導を即時行う。 ◇個の特性に応じた学習指導を展開するため、交流授業を積極的に実施する。 ◇交流学習は、体育的・学芸的行事、特活等を中心に行なう。共生社会の担い手となる児童を育成する。 ◇医療的ケアが必要な児童については、実施検討委員会を中心に意図的・組織的な教育活動を計画推進する。 ◇障害理解の特設授業を実施し、社会性・障がい理解等の伸長を図る。	2	60%以上	4 教・保・児ア「学力向上を目指す取り組み」 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	2 週2日程度 1 それ未満	4 教室実施状況 週2回計画通り 3 計画の80%程度 2 計画の60%程度 1 計画の60%未満	4 司書、地域図書館の活用状況 双方とも年間3回以上実施 3 計画の80%程度 2 計画の60%程度 1 計画の60%未満	
			1	60%未満					
			4	教・児・保ア「図書館活用、調べ学習」 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満					
			3	70%以上					
			2	60%以上					
			1	60%未満					
			4	教ア「授業力の向上」 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	4 研修成果の報告状況 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	4 授業観察・指導等 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	4 授業観察・指導等 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	4 特別支援委員会開催状況 月1回+適宜 3 月1回 2 隔月 1 それ未満	
			3	70%以上					
			2	60%以上					
			1	60%未満					
			4	教ア「授業力の向上」 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満					
			3	70%以上					
			2	60%以上					
			1	60%未満					
			4	教・保・児ア「特別な支援を要する児童への対応・指導」 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	4 特別支援委員会開催状況 月1回+適宜 3 月1回 2 隔月 1 それ未満	4 学習・行事での交流状況 学習・行事とも実施 3 計画の80%実施 2 計画の60%実施 1 未実施	4 特別支援委員会開催状況 月1回+適宜 3 月1回 2 隔月 1 それ未満	4 学習・行事での交流状況 学習・行事とも実施 3 計画の80%実施 2 計画の60%実施 1 未実施	4 学習・行事での交流状況 学習・行事とも実施 3 計画の80%実施 2 計画の60%実施 1 未実施
			3	70%以上					
			2	60%以上					
			1	60%未満					
			4	教・保・児ア「特別な支援を要する児童への対応・指導」 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満					
			3	70%以上					
			2	60%以上					
			1	60%未満					

項目	取組目標	具体的方策	取組指標	成果指標	
				評価	評価
生活指導等	③特別支援教育に関する関係諸機関との連携。	◇特別支援連絡会議等で指導上困難な状況が発生した場合は、専門機関へ対応の相談・協力を要請する。	4 教・保・児ア「特別な支援をする児童への対応・指導」 80%以上	4 必要に応じて、躊躇することなく連絡し、協力を要請する。 3 区教委からの要請に応じて連携する。 2 区教委・保護者からの要請に応じて連携する。 1 関連機関との連携は未実施	
			3 70%以上		
			2 60%以上		
			1 60%未満		
	(1)いじめや不登校の予防や解決のための、組織的な取組を行う。 ①全教員の共通認識・理解による問題行動の未然防止・解決。	◇いじめ・不登校の実態を把握する連絡会議を月1回実施し、適切な指導を即時行う。 ◇週1回の生活指導朝会、年3回の児童理解の会により、全教員が全児童の顔・氏名・実態を把握し、共通理解のもとで指導にあたる。	4 教・保・児ア「いじめ・不登校対応、相談対応」 80%以上	4 連絡会・朝会議開催状況 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	
			3 70%以上		
			2 60%以上		
			1 60%未満		
	②区教委、外部機関と連携し、迅速かつ適切に対応する。	◇連絡会議で把握した案件はすべて区教委へ報告し、連携しながら解決にあたる。	4 教・保・児ア「いじめ・不登校対応、相談対応」 80%以上	4 報告状況 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	
			3 70%以上		
			2 60%以上		
			1 60%未満		
	(2)基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育の充実を図る。 ①「墨田区でイチパン・カッコイイ小学生になる作戦」を中心に、基本的な生活習慣の徹底を図る。	◇校長のリーダーシップによる「墨田区でイチパン・カッコイイ小学生になる作戦→グー(粘り抜く)、チョキ(いつもニコニコ、いじめはダメ)、パー(バーッとあかるく元気においさつ)」を前期中心に展開する。 ◇学校生活の基本「四吾小のよい子のきまり」の周知徹底。 ◇長期休業明けに生活指導リズムチェックを実施(年3回)し、規則正しい生活習慣の定着を目指す。	4 教・保・児ア「基本的な生活習慣、楽し学校生活」 80%以上	4 生活リズムチェック実施状況 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	
			3 70%以上		
			2 60%以上		
			1 60%未満		
	②道徳授業を通して、心の教育の充実を図る	◇毎週の道徳授業を中心に、互いの人権を尊重する心を養う。	4 教・保ア「道徳、心の教育」 80%以上	4 道徳授業実施状況 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	
			3 70%以上		
			2 60%以上		
			1 60%未満		
	(3)児童の健康・安全を確保するための各種取組を行う。 ①健康・安全な生活環境づくりの推進。	◇月1回の保健指導・安全指導の確実な実施。	4 教・保ア「児童の健康・安全に関わる取組」 80%以上	4 実施状況 80%以上 3 70%以上 2 60%以上 1 60%未満	
			3 70%以上		
			2 60%以上		
			1 60%未満		
	②食育・アレルギー対策の充実。	◇食育の充実を図り、残菜率の常に10%以下を目指す。 ◇アレルギー対象児童は、年1回の保護者面談を実施。組織的な対	4 教・保ア「児童の健康・安全に関わる取組」 80%以上	4 実施状況 80%以上 3 70%以上	
			3 70%以上		

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		評価	成果指標		評価
		応の徹底を確認する。	2 60 %以上			2 60 %以上		
			1 60 %未満			1 60 %未満		
	③防災教育の実施。	◇戦災・震災の教訓をふまえた平和学習を年間1回実施する。 ◇学校独自の防災体験教室やPTA主催の防災お泊まり学習会を実施する。	4 教・保ア「児童の健康・安全に関わる取組」 80 %以上			4 平和学習、防災授業 各1回以上実施		
			3 70 %以上			3 学校主体でどちらか1回以上実施		
			2 60 %以上			2 PTA主催事業のみ実施		
			1 60 %未満			1 未実施		
学校の管理運営	(1) 経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営の徹底を図る。 ①分掌組織内でのOJT推進。	◇OJTが円滑に進むように、職層を意識した組織（複数人員担当制）を編成する。	4 教・保ア「経営方針、自覚と協力」 80 %以上			4 OJT実施状況の報告・確認状況 100 %		
			3 70 %以上			3 80 %以上		
			2 60 %以上			2 70 %以上		
			1 60 %未満			1 70 %未満		
	②教育活動の適切な実施状況を確認する。	◇毎週、校長・副校長2名で週案簿を確認し、教育活動の適切な実施を確認・指導する。	4 教・保ア「経営方針、自覚と協力」 80 %以上			4 週案簿提出状況 100 %		
			3 70 %以上			3 80 %以上		
			2 60 %以上			2 70 %以上		
			1 60 %未満			1 70 %未満		
	③主任・主幹の経営参画意識を高める。	◇教員の特性・力量を勘案しながら、主幹・主任に学校運営に関する責任ある役割を与え、参画意識と職務遂行能力の向上を図る。	4 教・保ア「経営方針、自覚と協力」 80 %以上			4 役割を与える主幹・主任の割合（対象9名） 80 %以上		
			3 70 %以上			3 70 %以上		
(2) 適切な教育目標・学校経営計画の設定及び評価を実施する。 ①児童の実態・区の施策等に即した教育目標・経営計画の設定。	①児童の実態・区の施策等に即した教育目標・経営計画の設定。	◇外部評価、各アンケートを総合的に分析し、毎年度末に次年度目標及び経営計画現化策を再設定する。	4 教・保ア「経営計画の策定、評価の実施」 80 %以上			4 学校経営計画、各評価項目の点検・改定状況 双方とも毎年実施		
			3 70 %以上			3 双方とも隔年実施		
			2 60 %以上			2 どちらかを毎年実施		
			1 60 %未満			1 どちらかを隔年実施		
	②学校経営計画に即した評価項目の設定と実施。	◇学校経営計画と評価項目の整合性を毎年点検・改善する。 ◇児童、保護者、教員アンケート及び外部評価（学校関係者評価）を適切に実施・分析し、学校経営の改善に資する。	4 教・保ア「経営計画の策定、評価の実施」 80 %以上			4 学校経営計画、各評価項目の点検・改定状況 双方とも毎年実施		
			3 70 %以上			3 双方とも隔年実施		
			2 60 %以上			2 どちらかを毎年実施		
			1 60 %未満			1 どちらかを隔年実施		
	(3) 教育環境・施設設備等の整備と防災・防犯体制の把握・改善	◇月1回の施設安全点検の徹底（管理職が自らの目で最終確認を行う）。 △修繕・改修が必要な施設について <sup>△</sup> 管理	4 教・保ア「施設・防犯・災害対応の整備」 80 %以上			4 安全点検実施状況 月1回+適宜		

項目	取組目標	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価
①教室環境・施設設備の安全確認の徹底と有効活用の促進。	①教室環境・施設設備の安全確認の徹底と有効活用の促進。 ②職員の心身の健康を守る労働環境づくりの推進。 ③育児休業取得の推進。 ④メンタルチェックの実施。	◇職員がその状況や理由を役所担当者に直接説明し、迅速な改善を図る。 ◇出退勤時刻の記録を分析・提示し、超過勤務月40時間以内の実現を目標とする。 ◇男女を問わずに育児休業を取得しやすい協働的な職場環境・体制の実現を目指す。 ◇メンタルチェック（年1回実施）の結果を分析し早期発見に努め、必要に応じて早期受診を勧める。	3 70%以上	3 月1回 2 隔月 1 適宜	4 超過勤務実態の状況（40時間以内の割合）90%以上 3 80%以上 2 70%以上 1 70%未満	
			2 60%以上			
			1 60%未満			
⑤学校に関する情報を積極的に発信する取組を行う。 ①学校便り、学校HP、各学級通信等を通して、学校情報を発信する。		◇紙媒体とHP（保護者ページを含む）での公開を併用する。 ◇HP掲載内容の充実を図るとともに、月2回以上の更新をする。 ◇写真等を活用し学校生活の様子を可視化する。	4 教ア「健康・安全に働く環境づくり」80%以上	4 毎月、取得推進を呼びかける 3 ヶ月に1回、取得推進を呼びかける 2 半年に1回、取得推進を呼びかける 1 それ未満	4 每月、取得推進を呼びかける 3 ヶ月に1回、取得推進を呼びかける 2 半年に1回、取得推進を呼びかける 1 それ未満	
			3 70%以上			
			2 60%以上			
			1 60%未満			
			4 教ア「健康・安全に働く環境づくり」80%以上			
家庭・地域連携	①保護者や地域の理解・協力を得た教育活動を推進する。 ②地域連携学習・大学連携学習の継続。	◇高学年では、IU大学、千葉大学との連携授業を各1回実施。 ◇中低学年では、キラキラたちはな商店街との連携授業、まちおこし事業者との連携授業を実施。	3 70%以上	4 面談等の実施状況 半年に1回以上 3 1年に1回以上 2 適宜 1 未実施	4 面談等の実施状況 半年に1回以上 3 1年に1回以上 2 適宜 1 未実施	
			2 60%以上			
			1 60%未満			
			4 教・保・児ア「複数媒体での情報発信」80%以上			
			3 70%以上			
②PTA行事実施への支援。		◇PTA・地域行事開催への協力と参加。	2 60%以上	4 各授業の年間実施状況 全学年1回以上 3 全学年1回以上 2 一部学年のみ実施 1 実未実施	4 各授業の年間実施状況 全学年1回以上 3 全学年1回以上 2 一部学年のみ実施 1 実未実施	
			1 60%未満			
			4 教・保・児ア「PTA・地域との相互協力」80%以上			
			3 70%以上			
			2 60%以上			
			1 60%未満			

項目	取組目標	具体的方策	取組指標	成果指標	
				評価	評価
(2) 文花中地区における幼保小中一貫教育の推進。 ①研究授業を含めた新計画の完全実施。	◇連携校で年3回の授業公開を実施。 ◇幼保園との交流（学校見学の受け入れ等）の再開。		4 教・保ア「幼保小中の連携」 80%以上	4 連携事業の実施状況 計画の90%以上 3 80%以上 2 70%以上 1 70%未満	
			3 70%以上		
			2 60%以上		
			1 60%未満		
②児童・生徒連携の充実。	◇中学校体験・見学（部活体験含む）の企画・実施。 ◇あいさつ運動、育成委員会事業等での交流。職場体験の受け入れ等。		4 教・保ア「幼保小中の連携」 80%以上	4 連携事業の実施状況 計画の90%以上 3 80%以上 2 70%以上 1 70%未満	
			3 70%以上		
			2 60%以上		
			1 60%未満		